

スタートアップ演習

必修

開講年次：1年次前期

科目区分：演習

単位：2単位

講義時間：60時間

■**科目のねらい**：「D×N（デザインと看護）の連携」をテーマとしたプロジェクト活動を通じ、大学や地域という新しい舞台・環境に一日も早く慣れることをねらいとする。このため大講義室での合同講義や小人数編成によるグループ活動、大学での学び方、資料収集の方法、レポート作成、グループ討論など、主体的に勉学・研究を進めるための基本的な知識や学習法、課題解決の手法などを習得する。また「D×N連携」を活かしたプロジェクト活動を企画・実施し、チーム活動の成果をまとめ発表・報告する。これらの活動を通じ、教員と学生、学生間のコミュニケーションを深め、連携力を養うとともに、地域に対する関心や貢献の姿勢、4年間の学生生活や将来の職業生活への展望を育てる。

■**到達目標**：①主体的に勉学・研究に取り組む姿勢を持つ ②他者とのコミュニケーション能力を高める ③基本的な学習技術を習得する ④学生生活や将来への展望を持つ

■**担当教員**：【◎○は科目責任者】

◎原 俊彦、町田 佳世子、松井 美穂、若林 尚樹、張 浦華、山田 信博、大島 卓、金 秀敬、矢久保 空遥、
敷谷 祐介

○川村 三希子、貝谷 敏子、藤井 瑞恵、本田 光、村松 真澄、伊東 健太郎、田中 広美、山本 真由美、石引 かすみ、
御厩 美登里

■**授業計画・内容**：

- 第1回 デザインと看護の連携に向けて：若い知力に期待する（学長）・スタートアップ演習の進め方と期待される成果（原）・担当教員の紹介とグループ編成の発表（合同講義）／自己紹介・役割分担・グループ名の決定など（グループ活動）
- 第2回 デザインと看護の世界：D×N連携を中心に本学の活動を紹介（先生方によるプレゼンテーション）（合同講義）／学生からの活動報告（国際交流事業・各種地域貢献プロジェクトなど）（合同講義）
- 第3回 プロジェクト活動入門+レポートの書き方／D×N連携に向けての話し合い（グループ活動）
- 第4回 D×N連携やエクスカッションに向けての話し合い（グループ活動）
- 第5回 「地域に親しむ」エクスカッション（まこまる（旧真駒内緑小学校跡利用施設）を中心に各チームごとに実施）
- 第6回 「D×N連携」プロジェクト活動（グループ活動）
- 第7回 「D×N連携」プロジェクト活動（グループ活動）／中間報告準備（グループ活動）
- 第8回 中間報告会（合同講義）／計画調整（グループ活動）
- 第9回 「D×N連携」プロジェクト活動（グループ活動）*レポート提出
- 第10回 「D×N連携」プロジェクト活動（グループ活動）
- 第11回 「D×N連携」プロジェクト活動（グループ活動）
- 第12回 「D×N連携」プロジェクト活動（グループ活動）最終報告準備（グループ活動）*エントリーシート提出
- 第13回 「D×N連携」プロジェクト活動 報告展示（スカイウェイ）（グループ別活動）*配布資料提出
- 第14回 「D×N連携」プロジェクト活動報告会（合同講義）
- 第15回 「D×N連携」プロジェクト活動のまとめと評価（グループ活動）

■**教科書**：特にありません。

■**参考文献**：随時紹介する。

■**成績評価基準と方法**：出席状況（2時限分を1回として6回以上欠席すると単位が出ません）、グループでの活動状況、レポートの成果などを元に、各グループの担当教員が上記の到達目標の達成度を評価する。

評価方法	到達目標				評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③	到達目標④		
定期試験						
小テスト・授業内レポート		○	◎	○	調査レポートを評価	20
受講態度	◎	○			積極性・集中度・礼儀態度	10
グループ活動／最終報告会などでの報告・発表	○	◎		○	人に自分が調べたことを説明し理解させる能力	20
課題・作品	○	○		◎	プロジェクト活動の成果と貢献度	25
出席	◎	◎			欠席1回につき5点減点	25
その他						

■**関連科目**：3年・4年次の共通演習

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：ポータルシステムを利用し、随時、必要な情報（連絡事項、配布資料、提出物のフォーマットなど）を提供して行きますので、しっかり活用して下さい。グループ別活動は割当教室を中心に必要に応じて様々な場所で行われるので、集合場所は各グループの担当教員の指示に従ってください。有意義なキャンパスライフを送ってもらうための演習ですから、毎回、積極的に参加し早く大学に慣れ、先生や友人とのコミュニケーションを深めて下さい。グループ編成は成績順ではなく、男女や看護とデザインの構成比などを勘案して行い第1回の時に担当教員とともに発表しますが、不都合があれば後で調整します。授業に参加する上で何か問題があれば担当の先生か、主担当の原に事前に相談して下さい。